

1. 学校教育目標

〈1〉建学の精神と教育目標

建学の精神「創造」	
教育目標	1. 心の創造 強い精神力と思いやりの心 2. 智の創造 知性と判断力 3. 美の創造 感性と技芸

建学の精神

建学の精神は私立学校にとってその教育の最も根幹となる目標を示すものであり、すべての教育活動を建学の精神に位置づけて行われる。千葉学芸高等学校では、建学の精神「創造」のもと、美しい人類文化の創造にあたる実力を備えた人材の育成を図る教育活動を展開する。

教育目標

教育目標は、建学の精神「創造」の具現化のため、心・智・美の観点から獲得を期待する知識技能能力の内容を示す。

心の創造においては、物事への集中や忍耐のできる強い意志を備えつつ、優しい思いやりも併せ持つ人間性の涵養を図る。

智の創造において、知性を磨き、知識を蓄積するのは正しい判断のできる理性を備えるためである。

美の創造においては、美しいものを美しいと感じ、それを言葉や身体で美しく表現できる能力や技能の獲得を図る。

〈2〉教職員および生徒の行動目標

教育目標の実現のため教職員は、以下の信条のもとに教育活動にあたる。

《職員の信条》
(1) 建学の精神を生かし、日本人の特性と校風を高揚せん
(2) 自己の誇りと責任を自覚し、全機能の発揮に当たらん
(3) 親和・協力の心を基とし、内容の充実を求めん
(4) 良き社会人たる素質を磨き、生徒の進路に万全を期せん

生徒は、以下の誓いのもとに学校生活の充実を期す。

《誓いの言葉》
(1) よい伝統と、よい校風をつくります
(2) はつらつとした若さで学力・技能を磨きます
(3) 愛敬の心を生活に表します

また、以下の学年目標に沿って自己の研鑽・向上を図る。

1 学年の目標	<p>《自学》</p> <p>私たち1年生は、次の目標をしっかりと実行して進みます。</p> <p>(1) 高校生としての礼法・言語・動作を立派に築きます</p> <p>(2) 友情・協同の精神を発揮します</p> <p>(3) 自信の持てるまで努力いたします</p>
2 学年の目標	<p>《充実》</p> <p>私たち2年生は、学校の中心となり、充実した学年を築きます。</p> <p>(1) 自分の将来の方針をたて、目標達成のために根強い努力をします</p> <p>(2) 愛校・友情の精神を一日の生活に表します</p> <p>(3) 自信の持てる力と人格を築きます</p>
3 学年の目標	<p>《独立》</p> <p>私たち3年生は、自分の将来の方針をたて、最高学年として人格を磨き、よい社会人となります。</p> <p>(1) 全校のよき指導者となります</p> <p>(2) 社会にたつ一切の準備をいたします</p> <p>(3) 自己の誇りと責任を自覚し、協力貢献を実践します</p>

〈3〉 年度目標

以上を踏まえて、令和3年度の目標を以下のように設定した。

令和3年度学校目標 『ワンアップ：持続可能な開発目標へ』

One Up (ワンナップ) は「一歩リードすること」。

千葉学芸高校として23年目。本年度のスローガンは「持続可能な開発目標へ」とした。

2015年に国連が採択した持続可能な開発目標、SDGs:Sustainable Development Goals。2030年までの人類共通の目標として17の目標を掲げている。

地球に住むすべての人々が尊重すべき共通の目標であり、その内容は「創造」の建学の精神を掲げる本校の教育目標とも一致すると考えられる。

国連が定めてから初期の5年が経過し、残りの10年間で普及と成果に結びつけていくこの時期に、学校として取り組んでいくこととする。

総合的な探究の時間での研究テーマなどでも、SDGsのどの目標とどの目標に関連するのか、などを意識していくことで人類全体の価値観に共鳴する人を増やし、よりよい世界の実現につながる。

なお、この活動の象徴としてSDGsの17目標を表現した虹環のバッジを国連から取り寄せて教職員が着用することとした。

上記目標に主眼をおきながら、人格形成・コミュニケーションの充実、学力向上・技能獲得向上・資格取得、進路開拓などを目指して教育学習活動にあたる。特に特性の伸長、人間性の育成、技能教育を重視し、色彩教育、情報教育、福祉教育、環境教育、国際教育などに関連する授業や学校行事、クラブ活動などの諸活動の展開・充実を期す。

2. 学校の概要

学校法人高橋学園 千葉学芸高等学校

〒283-0005 千葉県東金市田間 1999 番地

TEL 0475-52-1161

FAX 0475-52-1163

インターネット <http://www.cgh.ed.jp/>

電子メール info@cgh.ed.jp

令和3年度 学級数・生徒数	1学年	5学級	200名
	2学年	5学級	183名
	3学年	5学級	179名
	全校	14学級	562名

学校の概要については、インターネットホームページで公表。また、コースガイド、創立130周年記念誌等の冊子にて紹介している。

3. 各部門の活動内容・活動状況（学校要覧）

学校の特色、および以下の事項等については、令和3年度学校要覧（冊子全116頁、関係者向け5月刊行）に記載。

- ・学校施設・設備、校舎面積
- ・学校行事の内容
- ・生徒会活動の内容
- ・クラブ活動の内容
- ・教職員の担当学年、担当教科、校務分掌、授業の持ち時間数、所持免許状の種類
- ・校内研修の内容
- ・学習指導（授業時数、時間割、総合的な学習の時間の内容）
- ・学籍・出欠席統計
- ・生徒指導上の諸問題及びそれに対する学校の対処や指導の状況
- ・新型コロナウイルス感染症への対応の記録（特別収録40ページ）
- ・進路の状況
- ・安全管理・保健管理（保健安全、防犯対策、防災対策）
- ・各部門の予算執行状況
- ・父母の会活動状況、地域との連携等の状況

4. 自己評価（令和3年度）

A. 全般の評価

（1）評価

全般評価：良好

（2）課題と改善策

全般に関わる特に重要な課題として、生徒募集および新型コロナウイルスへの対応の2つを取り上げる。次に、令和3年度のトピックとして、高校野球春季大会優勝について述べる。

概況

コロナ禍の中でも、学校行事は感染症対策を行いながらほとんどを実施することができた。実施しないものは生徒海外研修のみ。5月予定の校内球技大会は、校内競技大会として11月に開催した。体育祭は種目を工夫し感染症対策を行った。富士登山は、宿泊先元祖室の協力で感染症対策し実施。夏期研修はグリーンピア津南にて2団で実施した。

また、昨年から延期となっていた千葉県私学教育研修集会国語科分科会の開催も、10月19日に予定通り開催、文部科学省国語科視学官大滝一登先生の基調講演を実施した。

生徒募集状況の課題

令和3年度の新入学生徒数は前年+5名であり、前年・前々年の-5、+5から若干増加に転じた。近郊の中学卒業生数が減少する中で、近隣公立高校の定員が過剰気味のため厳しい状況が続いており、私学の定員割れが続くなど環境が悪化する中でも、広報部を中心に生徒募集の努力をした結果、募集定員の7割程度が確保できた。ICT環境の充実やコロナ禍の中でも学校行事を丁寧に開催していることへの評価は高く、野球部の広範囲からの生徒募集など好材料も散見される。

本校の在学生の教育向上・進路状況は良好であり、困難な生徒募集状況は近隣公立学校定員過剰・公私学費格差等の外部要因によるものが主である。公立高校の募集人員増減により直接左右される状況は脱していく必要があり、受験生から選ばれるための魅力を一層高める必要がある。生徒募集の拡大のためには、内容の充実、広報・PRの工夫等の自己対処方策の充実発展により改善を図っており、授業料減免制度や奨学金制度の周知により私学を敬遠する意識の解消にも努めている。その結果、約6割が授業料減免制度を利用するなど、公私学費格差を乗り越える状況が生まれつつある。

今後も、環境悪化にも耐える体質改善を図るとともに、一層の広報努力によって生徒獲得を展開しなければならない。中学校教員も世代交代しており、本校ならではの数々の優れた特質について、中学校現場で十分には知られていない懸念もある。より丁寧でわかりやすい広報が必要であり、広報活動の質的量的改善も図っていく必要がある。公立の動向も注視し、展望をもって取り組んでいきたい。

新型コロナウイルスへの対応

2020年1月頃から新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、3月2日より全国一斉臨時休校を実施、4月7日に感染症緊急事態宣言発出、2020年から2021年に東京オリンピックが延期され、社会的な混乱が続いたが、2021年春からワクチン接種が開始され、状況は落ち着きはじめている。夏までデルタ株が流行し、8月に野球部でクラスターが発生し緊迫したが、山武保健所の指導を受けて沈静化した。

また、6月から11月まで内閣府のPCR検査モニタリング事業に参加したことで、全校生徒教職員を対

象として無償のPCR検査を頻回実施できたことで、非常に有効な対策を行うことができた。夏休み明けの9月、修学旅行出発時などで効果的に感染の有無を判別でき、感染者の早期発見と感染拡大防止につながった。その後、オミクロン株など新種変異株の流行により、まん延防止等重点措置が適用となり、一層の活動自粛が求められるようになったが、3月に解除されて後は落ち着いた状況にある。

2020年10月に導入した生徒一人一台のタブレットPCは授業での活用も開始されているが、幸いコロナ禍を理由とする臨時休校やオンライン授業の実施はなかった。風水害に伴う休校でのオンライン授業を1回実施しており、今後も必要に応じてオンライン授業が実施できる体制を保持し、訓練もしていくこととしている。

施設設備の拡充

（1）体育館エアコン設置

避難場所に指定されている体育館について、国の感染症対策事業の一環として、施設高機能化補助を受けて冷暖房設備を1階と4階に設置することとなった。工事は2月から開始されたが、コロナ禍に伴う半導体不足により機材の納入が遅れており、竣工は次年度5月を予定している。

（2）サイクルポート外壁改修

（3）総合グラウンド散水設備設置

（4）感染症対策のための設備拡充

サーモグラフィー設備、空気清浄機などを国補助金などを活用して整備した。

災害

自然災害による損害は軽微（台風）であった。

栄誉の記録

- ・全国大会出場 自転車競技部、吹奏楽部、空手部
- ・関東大会出場 自転車競技部、ゴルフ部、野球部
- ・高校野球春季大会優勝 野球部。
- ・藍綬褒章受章 令和3年度春の褒章 高橋邦夫理事長・校長

高校野球春季大会優勝

野球部は、5月4日の第74回春季千葉県高等学校野球大会で専大松戸高に8対2で勝利し初優勝を遂げた。各紙で大きく報じられ、本校の栄誉を高めた。初の県代表として臨んだ関東大会では惜敗した。

主力打者として活躍した3年有菌直輝選手は、10月11日のプロ野球ドラフト会議に臨み、北海道日本ハムファイターズより2位指名を受け、本校初のプロ野球選手の輩出となった。

B. 部門ごとの評価（学校要覧に記載）

5. 学校関係者評価

学校運営会議 中止（感染症まん延防止等重点措置のために開催できず）。

生徒（2～3月）にWebフォームにより学校評価アンケートを実施。保護者は実施できなかった。

以上